

## 二種の思い

2012年9月28日

人の脳はある意味においてコンピューターのようなものです。それだけでは思いを造り出すことはできませんが、情報を処理するのです。情報や考えは、霊または肉という源流の一方から人の魂に入ってきます。ということは霊から来る思いと肉から来る思いの2種類しかないのです。

### ローマ 8:6

肉の思いは死であり、御霊による思いは、いのちと平安です。

私たちはこれらの内のどちらかに注目し、またそれについて黙想する必要があります(ローマ 8章 5節)。霊の思いは、神さまから私たちへ、御霊を通して私たちの良心に来ます(ローマ 8章 16節、9章 1節)。また肉の思いは、悪魔的な源泉から私たちへ、私たちの周りのこの世的な影響を通じて入ってきます。

いのちへの思いを選びとり(申命記 30章 19節)、傲慢、情欲、裁きたくなる思い、心配といった思いには目を止めず(第2コリント 10章 3~5節)、イエシュア(イエス様)の思いに私たちの思いを合わせていきましょう。

### ヨム・キプール(大贖罪日)聖会

ヨム・キプールの祭礼のため、みなさまからのお祈りをありがとうございます。聖会は以下のような突破口があり、素晴らしいものでした。

- エルサレムにある幾つかの地域コングリゲーションの一致
- 全ての聖会はヘブライ語で行なわれた
- 油注がれた賛美と祈り
- 聖霊による預言の賜物
- ヘブル人への手紙全文の朗読
- この祭日の伝統的ユダヤ性の要素
- 

最後に聖会は、イエシュアの再臨、死者の復活、および神の御国の勝利を呼びかけるショファル(角笛)の長いひと吹きで閉じられました(レビ記 25章 9~10節; イザヤ 27章 13節マタイ 24章 31節、第1コリント 15章 52節、第1テサロニケ 4章 16節)。

## ネタニヤフ氏の国連でのスピーチ

以下は、今週、国連で行なわれたベニヤミン・ネタニヤフ氏のスピーチの抜粋です。聖書的価値観を持った国／地域と好戦的イスラムの悪意に満ちた国々からなる大使たちを前に、ほぼ一人で奮闘しました。彼はシオニズムが聖書的かつ歴史的根ざしたものでないとする主張に対する反論からスピーチを始めました。

3千年前ダビデ王が永遠の都エルサレムにおいてユダヤ国家を治めました。このことを、ユダヤ人国家がこの地域におけるルーツがなく、間もなく滅ぼされると公言する全ての方に告げる。ユダヤ人は帰って来たのです。もう滅ぼされることはありません。

昨日はヨム・キプールでした。3千年もの間、わたしたちはこの内省と贖罪の日を集ってきたのです。そしてヨム・キプールの最後の日、私たちはイスラエルの再生、そして在りし日のヨシュアやダビデやマカベイが備えていた不屈の勇気をもって、わが民族を守って来た若者たちの英雄譚を祝うのです。

それから彼は好戦的イスラムの害悪について非難しました。

イスラム過激派勢力は、ますます世界征服の傾向を強めています。彼らはイスラエル、ヨーロッパ、アメリカを破壊し、この現代世界を終わらせたいのです。彼らの不寛容は最初に彼ら同胞のイスラム教徒に向けられ、その後にキリスト教徒、ユダヤ教徒、その他、誰であれ彼らの許しを与えない教義に従わない人々に向けられるのです。問題は、この狂信主義が倒されるか否かではなく、これが倒される前にどれだけの命が失われるかということなのです。

イランのアヤトラ(訳注:イスラム指導者の称号)たちは、破壊は抑止力ではなく、促進力であることを、お互いに確認しているのです。アヤトラ・ラフサンジャニは「イスラエルで、たった1発の核爆弾を使うことで、ほんの一部のイスラム世界に被害があるだけで、イスラエルのすべてが破壊される。」と言っています。

ネタニヤフは聖書的価値観をアピールする以下の言葉で締めくくっています。

わたしたちは、全ての人を敬意とあわれみの心をもって接し、正義を求め、命を大切にし、平和のため祈り努力するというイザヤ、アモス、エレミヤといったユダヤ人預言者の言葉に耳を傾けています。これらのことはわが民族の時代を超えた価値観であり、ユダヤ人からの人類に対する素晴らしい贈り物なのです。

世界の社会が好戦的イスラムの危機に対し目を覚まし、イスラエルの首相が引続き聖書的な道徳観を語っていくことができるようお祈りください。

## ザ・コール(召命)・ジュネーブ集会

ベドロス・ネサニアン

来たる 12 月、以下の行事が行われる数日間のイベント、ザ・コール(召命)・ジュネーブ集会にどうぞお越し下さい。

2012 年 12 月 8 日	祈り、断食、悔い改めの日
2012 年 12 月 10~11 日	回復についての学びの日
2012 年 12 月 12 日	12 時間のワーシップセレブレーション

ゲートウェイ・ビヨンド(門の彼方)、ジュネーブ支部と現地の諸教会および国際コールリーダー、ルー・エンゲルとステーシー・キャンベルの共同で開催されます。ビジョンはこの聖会が、この町にとって霊的雰囲気の変換点となることです。

これらイベントは 2012 年 12 月 8 日のハヌカー(宮清めの日 - ユダヤ教の光の祭り)の初日に始まります。わたしたちはまた 16 世紀にジュネーブから発信し始めた改革のモットーである、「ポスト・テネブラス・ルクス-闇の後の光」を思い起こさせます。

このイベントは 2012 年 12 月 12 日 (12-12-12) のワーシップセレブレーション(賛美祝会)でクライマックスを迎えます。この 12 という数字は統治の完成と神の権威を表しています。ジュネーブは国際機関の集まる都市であり、国連本部が置かれています。そこで起こることは国々に影響を与えるのです。私たちの想いは、スイスが神に召された計画に沿って行動していくことです。

ジュネーブで私たちと共に、この国際都市に代わり祈って下さる国際的リーダーや執り成し手を歓迎します。詳しくは[こちら](#)をクリック。

### [アシェルの 12-12-12 についての祈りのメモ

最初の 12 は、神の御国のこの世の政府、社会に対する影響で、正義と義を要求。

2つ目の 12 は、メシアの体が完全で統一された、使徒的・預言的ミニストリーのため。ヨハネ 17 章、ローマ 11 章、黙示録 7 章による異邦人教会の完成。

3つ目の 12 は、イスラエルに神の御国、そして信仰のユダヤのルーツを回復し(使徒の働き 1 章 6 節)、イエシュアの再臨、および地上に彼の支配を確立し、メシアの体を整えるため。]

## 仮庵の祭り国際聖会

仮庵の祭り(スコット)は今週から始まり、この時期には世界の各国から信者が、エルサレムへ礼拝しに集まってきます(ゼカリヤ 14 章 16 節)。私たちリバイブ・イスラエルのチームが、中国本土、韓国、およびタイからの信者を含む方々との聖会を開催し奉仕をするので、どうぞお祈りください。